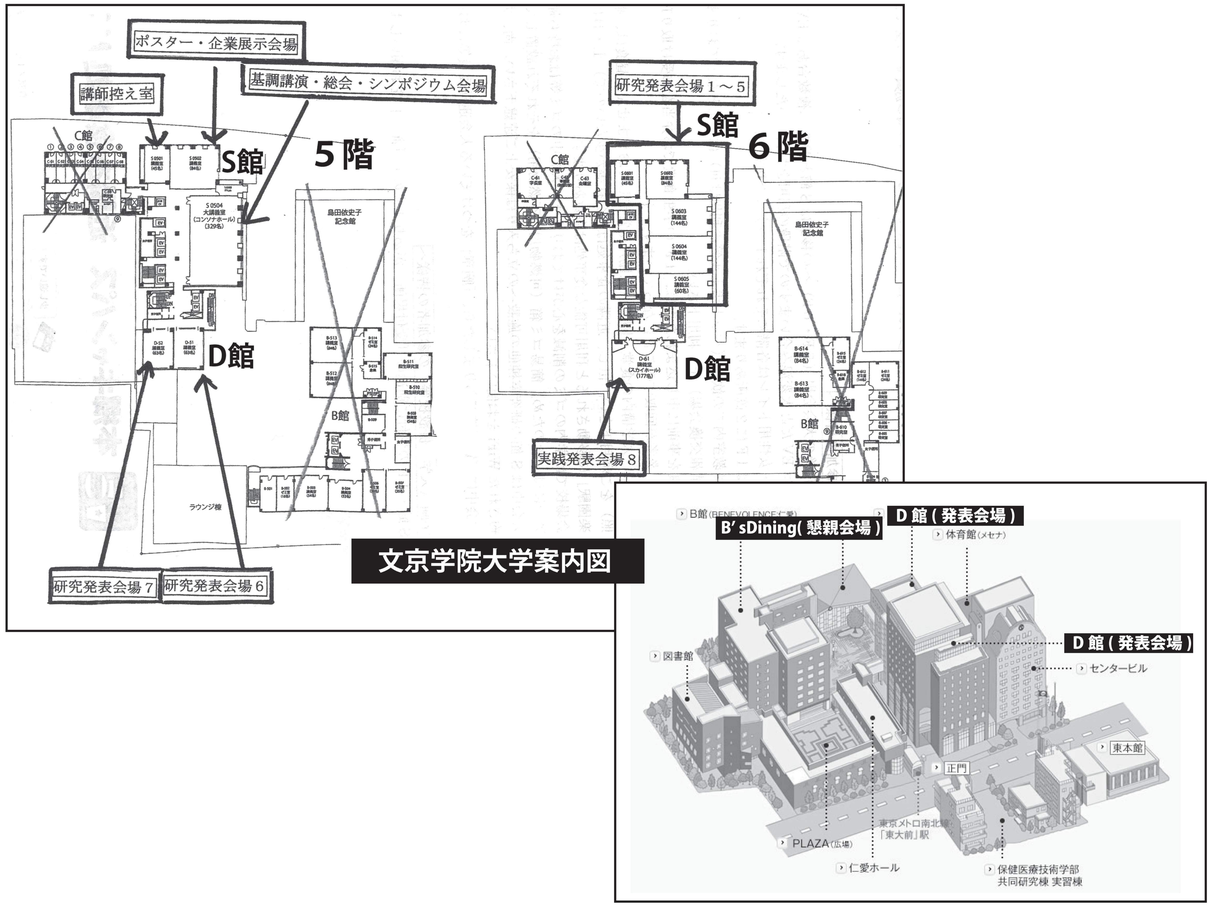
会場校からの大会参加者の皆さんへのお願いとご連絡

会員・当日参加の皆様へ

1．参加者の皆さんは、S 館・1 F の受付で必ず受付を済ましてから各会場に移動ください。尚、受付を済ませた方には「参加証」（情報交換会に参加される方には「領収書」も発行します）をお渡ししますので、大会中は首にかける式のネームホールダーに挟んでご利用ください。「参加証」は大会中は「参加 ID」となります。
2．大会受付後の大会会場（5 F・6 F）への移動は S 館と D 館に複数ある EV、または階段（2 箇所）をご利用下さい。但し、5 F と 6 F 間の移動は EV だと大変混み合いますので階段の利用をお願いいたします。
3．男性用・女性用トイレは各階にそれぞれ 1 ずつあります。
4．自販機は 1 F に 2 箇所あります。
5．本学では教室内での飲食（ペットボトル等の利用は可）は禁止となっております。持参された昼食をとられる方は、1 F の学生食堂（兼休憩所・情報交換会場）をご利用下さい。尚、昼食を事前に申し込まれた方は、1 F の学生食堂でお弁当をお受け取り頂き、お済みになった後でお弁当の空箱を所定の場所にお戻し下さい。業者が回収することになっています。
6．大会中は、大学構内の食堂・購買（生協）は営業しておりません。昼食は、事前にコンビニなどでご購入いただくか、近隣の食事処（地図参照）をご利用下さい。但し、近隣の食事処は（会社等が少ないので）土・日は殆ど営業をしておりませんのでご注意下さい。地下鉄で一駅の「後楽園駅」に移動されると利用可能な食事処は複数あります。
7．会場校では学内のゴミの削減を心がけております。大会中のゴミ等はお持ち帰り頂くようご協力下さい。
8．大会中は S 館の研究室棟他の施設への立ち入りは保安上ご遠慮下さい。尚、大会中は学内用の WiFi はご利用出来ませんので、ご自身で契約された WiFi をご使用下さい。
9．大会中にご質問等がありましたら、「腕章」をつけている大会運営委員等にお声がけ下さい。

文京学園（大学・併設校等）の参加者の皆様へ

S 館・1 F の受付に別途の「受付場所」がありますので、「記名」をお願いします。大会中の諸注意は上記の「1」から「8」と同様です。



第 2 回全国大会

Japan Active Learners Society

日本アクティブ・ラーニング学会

大会テーマ：2020年新学習指導要領とアクティブ・ラーニング

2018年 3月 25日（日）9:00 ～ 18:00

文京学院大学　本郷キャンパス

09:00	開会
09:10～10:10（60 分）	研究発表 1
10:20	開会式（全体会挨拶・会場校挨拶）
10:30～12:00（90 分）	基調講演 1　アクティブ・ラーニング型授業　理論と実践 京都大学　高等教育研究開発推進センター教授　溝上慎一
12:05～12:25（20 分）	総会
12:00～13:20（80 分）	企業展示・昼休み
13:30～14:20（50 分）	基調講演 2　新学習指導要領における教科情報とアクティブ・ラーニング 文部科学省生涯学習政策局　教科調査官　鹿野 利春
14:40～16:30（110 分）	研究発表 2
14:40～16:30（110 分）	実践発表・ポスターセッション 研究部会実践報告／賛助会員企業実践報告 学校実践発表（文京学院大学女子中学・高等学校　他）
14:40～15:30（50 分）	大会企画：アクティブ・ラーニングの実践授業 授業実践 A：授業教科「総合的な探究」 授業名：「コーヒー」から持続可能な世界を考える！！ 授業実践：米田　謙三（関西学院千里国際　中等部・高等部）当学会　会長 授業実践 B：高校生 ICT カンファレンス　発表
16:45～18:00（75 分）	シンポジウム：「新学習指導要領とアクティブ・ラーニング」 国立教育政策研究所　福本 徹　千代田区立麹町中学校　校長　工藤 勇一
18:00	閉会式
18:30～20:30	情報交換会　※文京学院大学　B′s Dining

※午前・午後の発表者の方は、持参データを発表会場の PC に移していただきますので、30 分程度前に、いったん会場にお越しください。

個人発表　プログラム 2018年3月5日現在

1. チャレンジ教育部会　司会　高橋真義　S-602 教室

【1】9:10 ～ 9:30　米田敬子
〇学校への帰属意識と学校生活への意欲ー開智日本橋中学校での「自己表現・評価トレーニング」の実践からー〇文教大学

【2】9:30 ～ 9:50　深浦聡明
〇高校数学授業における効果的アクティブ・ラーニング型授業を目指して～失敗事例の反省から～ 〇秋田県立湯沢翔北高等学校

【3】9:50 ～ 10:10　長谷川克也
〇意識を引き出す事で必ず国家試験合格をさせるための教え方～国家試験に合格させるためのアクティブ・ラーニングでの挑戦～〇宇宙航空研究開発機構

【4】14:40 ～ 15:00　橋本勝
〇ライト・アクティブラーニングの必要性を説く〇富山大学

【5】15:00 ～ 15:20　難波俊樹
〇「編集思考」を用いて考察する問題解決力と教科横断型学力〇東京富士大学

【6】15:20 ～ 15:40　杉原亨、出石稔、山本富士雄、橋本哲也
〇高大協働による地域の課題解決に向けたプロジェクト学習の取組み
〇関東学院大学、藤沢翔陵高等学校

【7】15:40 ～ 16:00　山本修裕
〇「能動的学習者」を育成する授業デザインの考察～スマートフォンを利用した「大喜利ワーク」の実践を通して～〇ワークショップデザイナー

【8】16:00 ～ 16:20　鷲北貴史
〇続・アクティブは愛だ～ BF 現場の後期水曜 1 限の実践報告～
〇高崎経済大学、湘南工科大学

2. 口頭発表 A＜学習ツール＞　司会　難波俊樹　S-603 教室

【1】9:10 ～ 9:30　大廣光文
〇主体的･対話的で深い学びへ向けての授業改善―ジグソー法を取り入れたコンセプト･マッピングの試み〇ステップハイステップ湘南スクール

【2】9:30 ～ 9:50　中園篤典
〇市販カードゲーム「小早川」を教室で実施するために必要なこと〇広島修道大学

【3】9:50 ～ 10:10　木村京子、柳沢富夫
〇地域通貨を使った社会課題解決」の学習におけるアクティブ・ラーニング支援活動
〇ラウンドテーブルコム

3. 評価研究部会　司会　吉田和夫　S-605 教室

【1】14:40 ～ 15:00　清水公男、吉田悠一
〇OPP（一枚ポートフォリオ）を活用した学習評価デザインの授業実践研究〇文京学院大学、松阪市立久保中学校

【2】15:00 ～ 15:20　青木太郎
〇アクティブ・ラーニングの効果測定に使える、国際標準評価技法の紹介〇日本ＢＬＳ協会

【3】15:20 ～ 15:40　井上　泉
〇アクティブ・ラーニングにおける学習者参加型評価の可能性と課題 -　大学英語教育の実践例を通して〇沖縄国際大学

4. 口頭発表 B＜授業実践＞　司会　稲井達也　S-604 教室

【1】9:10 ～ 9:30　石井健登
〇中学校における「メモリーツリー」導入の実践報告と考察〇日本大学

【2】9:30 ～ 9:50　峰岸 巧
〇概念的思考を取り入れた探究型の学び」による子どもたちの変容と今後の展開
〇開智望小学校

【3】9:50 ～ 10:10　成田裕政
〇主体的に学ぶ中学公民授業の実践〇四天王寺学園高等学校・中学校

5. 教育環境とアクティブ・ラーニング部会　司会　松波紀幸　S-601 教室

【1】9:10 ～ 9:30　木村剛　渡辺悟
〇社会人教育における「学び合い」の誘発～企業研修にみる最終試験事前開示の有効性～〇立教大学、シュハリ

【2】9:30 ～ 9:50　松波紀幸
〇教職課程における音声化教材を用いた実践事例〇帝京大学

【3】9:50 ～ 10:10　牧野浩二
〇主体的で、対話的な深い学び」の実践―教職教養科目「教育法規」をアクティブ・ラーニングの視点で―〇四天王寺大学

6. 教科横断型・表現力リテラシー部会　司会　大重史朗　D-52 教室

【1】9:10 ～ 9:30　古新 舜 , 南 知仁 , 中川 耕治
〇修学旅行で映画制作～シネマ・アクティブ・ラーニングを用いた長崎修学旅行での PBL ～〇コスモボックス / 下北沢成徳高等学校、JTB 中国四国、広島城北中学校

【2】9:30 ～ 9:50　石井雅章
〇レポート作成授業におけるペアワーク・グループワーク実践〇神田外語大学

【3】9:50 ～ 10:10　永野篤
〇短期大学生のオラリティーとリテラシーの相関と評価〇聖和学園短期大学

【4】14:40 ～ 15:00　松尾千佳、古屋美樹・小島英嗣　沓澤糸
〇高校生・大学生の語彙力とアクティブ・ラーニングとの関係性に関する一考察
―「第 2 回現代人の語彙に関する調査」より―
〇ベネッセコーポレーション、教育アナリスト

【5】15:00 ～ 15:20　藤田朋己
〇学びあう授業による効果と課題ー　思考手法・思考ツールの利用　ー
〇大阪総合保育大学

【6】15:20 ～ 15:40　西村準吉
〇遠隔授業とビブリオバトル〇佼成学園中学高等学校

【7】15:40 ～ 16:00　山瀬加奈・北野三保子
〇国際交流経験でアクティブ・ラーナーを育成する～ NPO 法人コモンビート　スクールプロジェクトの提供する「ワールドダンス」 文部科学省トビタテ！留学 JAPAN　日本代表プログラムの提供する「留学」から～〇玉川大学

7 .ICT 教育研究部会 【午前の部】 司会　吉田和夫　S-605 教室

【1】9:10 ～ 9:30　高橋美樹
〇オリンピック　リオーCLIL ～ Tablet Debate
〇兵庫県立鳴尾高等学校

【2】9:30 ～ 9:50　山口一裕
〇多人数講義形式授業でより深く地球科学を学ぶためのアクティブ・ラーニング授業の実践と評価〇岡山理科大学

【3】9:50 ～ 10:10　岡山咲子
〇LINE を使ったワークショップによるアクティブ・ラーニング手法〇千葉大学

8 .SDG s 部会　司会　藤田大悟　D-51 教室

【1】9:10 ～ 9:30　松井晋作
〇高大接続と産官学連携を通じた国際理解及び地域貢献活動について
〇多摩大学目黒高等学校

【2】9:30 ～ 9:50　荒木貴之
〇わが国の学校教育における SDGs 実践に関する調査〇武蔵野大学

【3】9:50 ～ 10:10 藤田大悟、立花智子、吉田拓実
〇世界の課題解決を目的とした中高生の学会サイエンスキャッスルおよび研究費の試みと SDGs による研究の深化の可能性
〇リバネス教育総合研究センター 、リバネス教育開発事業部

【4】14:40 ～ 15:00　井上麻衣
〇サステイナビリティワークショップ実践の試み 〇リバネス人材開発事業部

【5】15:00 ～ 15:20　丸山仁
〇「祖父母への聴き取り」が、面接技法向上にもたらす効果について
〇新潟医療福祉大学

【6】15:20 ～ 15:40　池田修
〇音声入力を活用した、教師の語りかけ指導に関する研究〇京都橘大学

【7】15:40 ～ 16:00 佐藤裕幸
〇反転授業用動画作成と予習課題の確認及び授業内アウトプットによる深い学びの育成事例〇石川義塾中学校・高等学校

9. イノベーティブティーチャー部会　司会　小村俊平　D-61 教室

14:40 ～ 16:20
シンポジウム：三浦浩喜（福島大学理事・副学長）、秋田喜代美（東京大学 ）

10. ポスターセッション　S-502 教室

コアタイム（発表者待機時間） 12:30 ～ 13:20

教え合いを取り入れた授業の開発・実践とその評価・分析
　岩川 暢澄〇文京学院大学女子高等学校

身近なテーマを利用して生徒の科学的思考力，問題発見能育成する方法
　鈴木康恵〇文京学院大学女子高等学校

「自分の平熱を考える」アクティブ・ラーニング の手法 について
　麻生由子、齋藤寛子、佐竹優希、佐藤素子、棚橋信雄、高野一夫、樋口 桂〇秋田市立下浜中学校、秋田市立下浜中学校、秋田市立豊岩中学校、秋田市立豊岩中学校 、文京学院大教職センター 、東京有明医療大学保健部 、文京学院大保健医療技術部

特別セッション

【招待セッション】　9:10 ～ 10:10　S-504 教室
深い学びと国際バカロレア DP 科目・TOK の親和性
小澤大心〇アオバジャパン・インターナショナル

【日本 STEM 教育学会セッション】　12:00 ～ 13:20　D-61 教室
口頭発表、ポスターセッション　日本 STEM 教育学会

【授業実践】　14:40 ～ 15:30　S-603 教室
コーヒーから持続可能な世界を考える！
講師：米田謙三〇関西学院千里国際中等部・高等部、当学会会長
生徒：文京学院大学女子中学・高等学校

【実践発表】　15:30 ～ 16:20　S-604 教室
高校生 ICT カンファレンス
浦和高等学校 1 年生・彦由哲宏　鎌倉女学院高等学校 2 年生・姜維玲
お茶の水女子大学 4 年生・佐々日向子　早稲田大学 1 年生・井出凪砂
佐藤正二〇鎌倉女学院高等学校教諭
高木健治〇安心ネットづくり促進協議会　事務局
ファシリテーター：米田謙三〇関西学院千里国際中等部・高等部